

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

様式1

市町村名（保険者名）	会津美里町
所属名	健康ふくし課
電話番号	0242-55-1145

「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

保険者名	第7期介護保険事業計画に記載の内容				H30年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
会津美里町	自立支援・介護 予防・重度化防止	高齢になっても住み慣れた 地域で自分らしく暮らし続け るには、高齢者がその有する 能力に応じ、自立した日常生 活を営むことができるよう支 援することや、要介護状態等 となることの予防、要介護状 態の軽減、悪化の防止といっ た考え方を、住民や事業者な ど地域全体で共有し、取り組 んでいく必要があります。 【日常生活圏高齢者ニーズ 調査結果による高齢者の現 状】	自立支援型地域ケア会議の 開催	自立支援型地域ケア会議の開催 (H29年度:2回、H30年度:12回、R元年 度:12回、R2年度:12回) (H30年度)23件 50% (R2年度)30 件 70% H29・H30年度は、実績値、R元年度以降 は目標値。	自立支援型地域ケア会議によるケース検討 数 H31.3月末まで23件		個別ケース検討が多岐に渡る場合があり、各専門職からの 意見が重要である。また、事業所レベルの向上を図る必要 があることから、引き続き研修を行う必要がある。
会津美里町	自立支援・介護 予防・重度化防止	・地域での活動について、健 康づくりや趣味等のグルー プ活動に参加者として「参加 してもよい」のほうが多いこ とから、潜在的なニーズがある ものと推測される。 ・健康状態について、よくな いと回答された方は15.8%と なっており、要介護者予備軍 ともいえるため、介護予防へ の対策・取り組みが必要で す。	住民主体による集いの場の 充実	住民主体による集いの場実施地区数 (平成30年度)24地区 (平成32年 度)34地区	住民主体による集いの場実施地区数 H31.3月末 24地区		包括支援センターが中心となり集いの場として、行政区を単 位に実施。また、認知症カフェを2ヶ月に1度実施し、高齢者 を含めた地域住民の居場所づくりと認知症への理解を深め てきたが開催頻度を増やす取組みを推進して行く。
会津美里町	自立支援・介護 予防・重度化防止	・地域での活動について、健 康づくりや趣味等のグルー プ活動に参加者として「参加 してもよい」のほうが多いこ とから、潜在的なニーズがある ものと推測される。 ・健康状態について、よくな いと回答された方は15.8%と なっており、要介護者予備軍 ともいえるため、介護予防へ の対策・取り組みが必要で す。	地域リハビリテーションの機 能強化	地域リハビリテーション実施地区数 (平成30年度)10地区 (平成32年 度)15地区	地域リハビリテーション活動支援事業を実施 地区 H30年度末実績 16地区(前年度から6地区増 加)		地域リハビリテーション活動支援事業を実施した地区は16 地区であり、前年度より6地区の増加となり、高齢者の生活 機能の低下を予防し現状を維持することができたため、要 介護状態となる高齢者の抑制にも繋がったことから、自主 運営する取組地区を増やしていくことが課題である。
会津美里町	自立支援・介護 予防・重度化防止	・地域での活動について、健 康づくりや趣味等のグルー プ活動に参加者として「参加 してもよい」のほうが多いこ とから、潜在的なニーズがある ものと推測される。 ・健康状態について、よくな いと回答された方は15.8%と なっており、要介護者予備軍 ともいえるため、介護予防へ の対策・取り組みが必要で す。	うんどう教室の充実	うんどう教室の参加者数(延べ人数) (平成30年度)3,250人 (平成32年 度)3,500人	うんどう教室の参加者数 H30年度末実績 述べ316回、3,833人の参加		指導員育成講座を年6回開催し、述べ164名の出席があり 指導の方法を新人と現指導員が一緒に学ぶことで新たな発 見も含めて指導のスキルアップにつながったことから、引き 続き指導員養成講座を計画的に開催する。

【注意事項】

- 1 記入スペースが不足する場合は、列の挿入やセルの結合は原則として行わず(集計時に支障となります。)、セル幅の調整で対応してください。
- 2 進捗管理する項目1つにつき、1行で記入願います。項目が5つ以上ある場合は行の挿入をしてください。